2017 TNMC & WANS 国際看護研究学会に関する報告

田島真智子 [1)]　佐久間佐織 [2)]　石井成郎 [3)]

Ⅰ．学会に参加して

2017年10月20日から22日の3日間，タイ・バンコクのミラクル・グランド・コンベンション・ホテルで，タイ看護・助産師協会（TNMC）と世界看護科学学会（WANS）による国際看護研究学会が開催された．

この学会の目的は，世界の健康問題に関する看護研究，実践，管理，教育の更なる進歩をすること，世界的な健康問題に関する看護研究の国際的な協力，ネットワーク，パートナーシップの育成と継続に貢献すること，世界の健康と看護のイノベーションのすべての側面について，様々な学術的および臨床的な環境から主要な学術研究者の経験と研究成果を交換し共有すること，講師，看護師，学生にグローバルな健康に関する看護問題と動向について話し合う場を提供することであり，会議には，タイを含む14カ国から874名が参加し，476例の研究発表が行われた．

研究発表内容には，タイにおける10代の妊娠率上昇を背景とした，繁殖貧困や公衆衛生問題を懸念したもの，また東南アジアの死亡原因が日本と同様，癌，心疾患，脳血管疾患において増加傾向である背景から，緩和ケアや生活習慣病に関する看護介入，そして日本だけではなく東南アジアの多くの国が抱える，急速な高齢化問題における研究も目を引いた．

東南アジア諸国には共通した健康問題が多いため，新しいアイデアや技術を開発し，国外の人々に影響を与えることができれば，世界的な健康を成し遂げるきっかけになると期待できる．そのためには，異文化間の看護研究の理解を深め，世界的な健康の変化に対処するための，洞察力を高める事が重要となる．本学会の目的を達成させるために，まず自身が広い視野でグローバルな健康に関する看護問題と動向を掴み，そしてグローバルな視点を持つ看護学生の育成に務めることの必要性を，本学会参加において感じられた．

Ⅱ．研究の紹介

1．背景

日本の看護教育における関連図は，疾患の原因，器質的変化，機能的変化，症状，生活行動への影響，心理的・社会的状況，看護問題について，それらの関連をノードと矢印を用いて論理的に表現した図である．関連図は患者の全体像を理解するために使用されているが，その作成には多数の情報だけではなく専門的知識も求められ，初学者にとっては高度で複雑な活動である．

しかし現在の教育場面で用いられているテキストは，それらの専門的知識をすでに学んだ学習者を想定して作られており，関連図の記述方法等の基礎的な内容を学べるものがほとんど見当たらない．そのため著者らは，学習者が自分自身で学習できるよう，scaffoldingの機能（Wood et al., 1976）を参考に，説明に基づいて段階的に患者情報を整理し，関連図の作成方法を体験的に学習することができるワークブックの教材開発に取り組んできた（佐久間ら，2014；田島ら，2014）．そして，開発した教材を教育場面に導入し，学習理解度を質問紙により調査し，教材の有用性を確認した（市川ら，2015）．本研究では，教材の有用性をより客観的に評価するために，前述の実践において学習者が作成した関連図の分析およびARCS理論に基づいた教材評価尺度（ARCS評価シート）を用いた評価を行った．

1）朝日大学保健医療学部看護学科
2）聖隷クリストファー大学看護学部看護学科
3）愛知きわみ看護短期大学看護学科

2．目的

本研究の目的は，ワークブックの教育的有効性を客観的に評価することである．具体的には，看護教育場面でワークブックを活用し，教材で示した関連図の例と，最後に学習者が作成した関連図の比較による分析と教材評価尺度を用い評価した．

3．方法

対象は看護短期大学 1 年生 31 名であった．教材はワークブック形式であり，具体的な事例について，自己にて説明を読み進めながら，段階的に関連図を作成し，最後に説明を読まずに同じ事例について関連図を作成した．その後 ARCS 理論に基づいた教材評価尺度を用いた評価と最後に学習者が作成した関連図と教材で示した関連図の例を比較し，分析を行った．

4．結果と考察

ARCS 評価シートの結果は，どの質問項目も平均 3.5 以上の肯定的な評価であり，とくに『関連性』および『満足感』に関する評価は高いが，項目間を比較すると，「自信がついた」「自分なりの工夫ができた」の評価に低い傾向がみられた．

教材で示した関連図の例は，ラベル数 13，リンク数 29 であった．教材の関連図と学習者の関連図を比較した結果，9 つのラベルをすべての学習者が記載していた．残り 4 つのラベルの記載率は 83.9 ～ 96.8％と大半の学習者が記載していた．

一方，リンクに関してはすべての学習者が記載していたのは 7 つに留まっていた．また，「創部痛 → 身体可動性障害（38.7％）」，「下肢筋力低下 → 立位が不安定になりやすい（35.5％）」，「股関節内転・内旋制限の指示 → 身体可動性障害（25.8％）」の各リンクを記載した学習者は全体の 50％以下であった．これらのリンクは与えられた情報からの推測が必要であり，先行研究で実施した質問紙調査において，「潜在的な情報を推測して関連性を学習する」という項目の理解度が低かったこととも一致している．そしてこの結果が，学習者の自信や自分なりの工夫に対する評価を下げていたと考えられる．

以上から初学者に対しては思考のヒントとなる情報提供の必要性が示唆された．

5．結論

ラベルに関しては本教材の有用性が示されたと考えるが，リンクに関しては有用性が示されなかった．今後は，学習者が与えられた情報に基づいて適切に推測を行えるよう，具体的な推測のプロセスの説明を加えること，またヒントとなる情報を追加するなどの支援方法を検討し，教材を改善していきたい．

6．参考文献

市川恭子，佐久間佐織，田島真智子，石井成郎（2015）．初学者のための関連図作成ワークブック教材の教育場面への導入，日本看護学教育学会第 25 回 学術集会抄録集．

Napaphen, J., Arpaporn, P., Sunee, L., Natkamol, C（2017）．Pregnant Teens' Quality of Life A Causal Model Testing. TNMC & WANS International Nursing Research Conference.

Noot, T., Tassanee, T., Pimpan., S（2017）．The Advanced Cancer Patients' Experiences in Home-Based Palliative Care. TNMC & WANS International Nursing Research Conference.

Sakorn, I. Wanapa, S（2017）．Development of Stroke Prevention Model for Older Persons in a Primary Care Context. TNMC & WANS International Nursing Research Conference.

佐久間佐織，市川恭子，田島真智子，石井成郎（2014）．初学者のための関連図作成ワークブック教材の開発，第 34 回 日本看護科学学会学術集会抄録集，408.

Siriporn, C（2017）．Special Forum : Teenage Pregnancy. TNMC & WANS International Nursing Re-

search Conference.

田島真智子，佐久間佐織，市川恭子，石井成郎（2014）．初学者のための関連図作成ワークブック教材開発と形成的評価，第 34 回 日本看護科学学会学術集会抄録集，408.

Wood, D., Bruner, J.S. and Ross, G（1976）. The role of tutoring in problem solving. Journal of Child Psychology and Psychiatry 17 : 89-100.

TNMC & WANS

International Nursing Research Conference 2017

Bangkok, THAILAND

Assessment of Educative Efficacy of Concept Mapping Workbook for Basic Nursing Education

Machiko Tajima (School of Health Sciences, Asahi University, Mizuho, Japan)
Saori Sakuma (School of Nursing, Seirei Christopher University, Hamamatsu, Japan)
Norio Ishii (Department of Nursing, Aichi Kiwami College of Nursing, Ichinomiya, Japan)

Introduction : In learning of nursing process, it is essential to understand the whole picture of the patient through the process of creating a concept map. The authors developed a workbook that allows students to learn how to create a concept map on experimental grounds by organizing patient information with explanation-based, step-by-step approach.

Objectives : The purpose of this study is to assess the educative efficacy of the workbook. In particular, the authors utilized the workbook in nursing educational situations to analyze the concept maps created by students and assess its efficacy using a scale for evaluation of learning materials based on the ARCS model (ARCS evaluation sheet).

Methods : 31 nursing students of freshman year engaged in learning using the workbook. The learning time was approximately one hour. After that the students created another concept map on the case they learned from the workbook without reading the explanation. Finally, they were asked to answer the questions on the ARCS evaluation sheet.

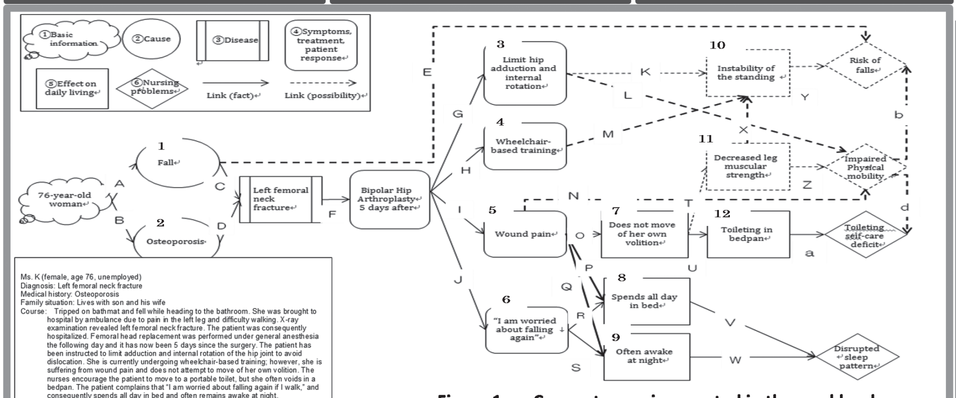

Figure 1　Concept mapping created in the workbook

Results : Conceptual diagrams created by students were analyzed as evaluation of learning results. As a result, it was confirmed that many students successfully included the information clearly specified in the incident. Regarding the link, however, the four links with the correct answer rate less than 60% were dotted line links.

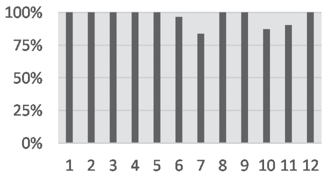

Figure 2 Descriptive results of labels in Concept Mapping

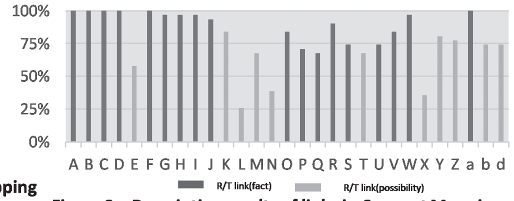

Figure 3　Descriptive results of links in Concept Mapping

On the other hand, as a result of analyzing the answer of ARCS valuation sheet as evaluation of learning material, the result of ARCS evaluation sheet was average ≧ 4.0 in 15 out of 16 items were positively evaluated.

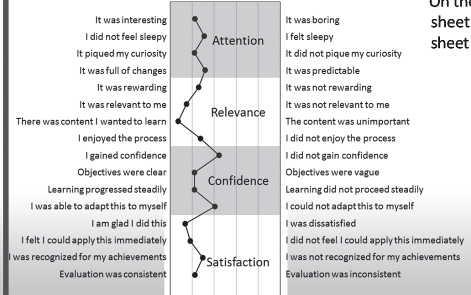

Figure 4　Results of the ARCS evaluation sheet

Conclusion:
There was good feedback on the educative efficacy of our workbook from the perspective of the ARCS model. On the other hand, the further improvement in the workbook is expected as the result of analyzing the learning outcome suggested the need to support students to make a guess from the given information.

Keywords : Basic nursing education, nursing process, concept mapping, assessment of educational materials, ARCS model